

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（店長）	・春は夏に次いで売上が急上昇する時期であり、入進学、卒業や就職、最近では花粉関連などの需要が多い。ニーズに合わせた品ぞろえに気を配って、更に勢いをつけていきたい。	
		商店街（代表者）	・春から初夏にかけての需要シーズン到来なので、商店街では招待セールや花見イベントなどを行い、集客を図る。天候次第であるが、好天が続くと期待できそうである。	
	やや良くなる	百貨店（販売促進担当）	・現在の春物不振は天候不順によるものなので、暖かくなりさえすれば、動きが良くなり売上が回復する。	
		百貨店（店長）	・1、2月と、2か月連続で前年の売上がクリアできており、売上の見通しは良くなっている。	
		コンビニ（店長）	・2～3か月後には、新規取扱商材がプラス材料として作用し、客単価、来客数が良くなると期待している。	
		衣料品専門店（統括）	・町のにぎわい復活ということで、毎月3日、商店街で縁日を始めて約半年が経つが、大変話題性もあり、出店者の中から空き店舗へ新規出店する動きも出てきている。活性化につながることを期待している。また、2、3か月後は需要期に入るの、先行きはやや良くなる。	
		一般レストラン（経営者）	・今年の1～2月は大変寒さが厳しいが、その割に客の動きは良いので、この先、春に向かって多少期待できそうである。	
		都市型ホテル（経営者）	・予約状況は前年を上回っている。また、求人広告やハローワークなどで募集をかけても、求人数が増えているので人員がなかなか確保できない状態である。	
		旅行代理店（経営者）	・愛知博や名古屋の新しい空港（セントレア）のオープンで、何となくどこかへ行ってみようかという雰囲気になり、3か月先は良くなる。	
		タクシー運転手	・タクシー部門の他に介護事業を立ち上げる予定なので、増車効果とあいまって需要が期待できる。	
		タクシー（経営者）	・ここ3か月連続で伸びているので、今後も良くなる。	
		住宅販売会社（経営者）	・ペイオフ解禁の影響で、客は資産の分散化を実行に移し始めており、消費税増税の危機感からも、住宅を購入する人が増えているので、やや良くなる。	
		変わらない	一般小売店〔文具・事務機〕（経営者）	・商店街で火災があり、不景気ムードを一層深めてしまっている。これを契機に商売をやめてしまうところが多く、復興景気は今のところ期待できない。
			スーパー（経営者）	・客単価の低下が続いている。この先も天候に大きく左右されることがあるかと思うが、無駄な買物をしないという状況は変わらない。
			スーパー（店長）	・3か月くらいでは変わらないが、オーバーストア状態なので、この先必ず「淘汰」が始まる。それまでは現状のまま推移する。
			スーパー（統括）	・極端な安売りをする時代ではなく、全体的に単価が下がっている。結果的に消費者の消費税分の支出が節約された格好であり、これ以上落ち込むと最悪な状況となる。
			衣料品専門店（経営者）	・昨今は初物からバーゲンをしないと購入しないようである。
			衣料品専門店（店長）	・行楽や結婚式のシーズンであるが、セットアップやスーツ等より、後で自分のたんす在庫と着回しのきくような、カジュアルな単品を買い求める傾向が強く、客単価はあまり望めない。
			乗用車販売店（従業員）	・新型車などの発売もないので、しばらくは現状のまま推移する。
その他専門店〔携帯電話〕（営業担当）	・第三世代携帯の新機種の人気が今一つ伸びない。従来の機種でこれ以上大幅な伸びを期待するのは難しいので、変わらない。			
	一般レストラン（業務担当）	・年度替わりに行われる各種団体（法人会、PTAなど）の総会予約はほぼ前年並みに入っている。懇親会の料理単価もこの数年の下落傾向に歯止めがかかり、前年並みである。ただし、出席者が減っているの、売上は前年を5%程度下回る見通しである。		
	旅行代理店（営業担当）	・地球博という大型プロジェクトに期待しているが、今のところあまり反応が出ていない。始まってからのマスコミの取り上げに期待している。		

		タクシー運転手	・3、4月は歓送迎会などで多少は利用客が増えるが、一時的なことである。
		観光名所（職員）	・節約ムードが漂っていることなどから、雪が解けて春になってもホテル、レストランの売上は例年を下回る見込みである。
		ゴルフ場（副支配人）	・雪の影響による12～1月の営業クローズに伴い、今月も雪の心配から客の動きが少し鈍かったが、春に向けての引き合いがあるので、総体的には変わらない。
		美容室（経営者）	・2～4月は美容院の来店頻度が高くなる。支店の開設、独立開業も若干増えてくると見込んでいる。
		その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・車検料金に関連した問い合わせが毎日のようにある。低料金で整備できないかなどの質問が相変わらず多い。
		住宅販売会社（経営者）	・金融機関の融資が非常に厳しいため、物が動かなくなっている。住宅ローンについても審査基準が厳しく、金融機関によっては担保物件の掛け値が6掛け程度と非常に低いことから、客の自己資金がそこまでそろわずに購入してもらえない状況である。
		住宅販売会社（経営者）	・少ない客を競争して追いかける状態が今後も続く。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・春の観光シーズンになるが、今年は愛知万博の影響があるので、やや悪くなる。
		スーパー（経営者）	・競争店舗の増加により、やや悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・近くに競合店ができたので、影響を受ける。
		乗用車販売店（営業担当）	・決算期も終わり、来客数も減少して販売量が伸びないので、やや悪くなる。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・暖房用燃料の冬場商戦で、灯油、A重油が増販となっているが、これからは段々暖かくなって、販売量が減少することもあり、やや悪くなる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・例年、歓送迎会の予約が入るころだが、いまだに入りが悪い。
		都市型ホテル（スタッフ）	・総会シーズンに入る時期だが、現時点での問い合わせがかなり鈍い。
	悪くなる	乗用車販売店（販売担当）	・観光地を控えて商売をしているので、ホテル、旅館関係が立ち直らないことには景気は良くならない。大型ホテルが倒産したり再生機構に回っている状況なので、宣伝をしても良くならない。
		観光型ホテル（経営者）	・愛知万博の開催が、当地区にとっては逆風となってしまう。
		都市型ホテル（スタッフ）	・スペシャルオリンピックスはわずかな期間で、それ以降は活気がなくなる。しばらく景気が良い気配はない。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	一般機械器具製造業（生産管理担当）	・期末要因だけでなく全体的に仕事量が増加してきており、しばらく目一杯の生産体制を取らなければならない。新規の仕事依頼も増加してきており、仕事を受けきれない状況である。
		不動産業（管理担当）	・新しいテナントの入居打診もあり、賃料を除けば良い方向に向かっていく。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・客の設備投資が活発に推移し、引き合い、受注量とも、増加傾向にある。
	変わらない	食料品製造業（営業統括）	・各メーカーとも最近独自のぶどう園を持ち始めているが、これらの畑から製造されるワインはしばらく時間がかかる。
		化学工業（総務担当）	・容器の関連では、まずまずの受注があり良い状況であるが、ガス関連では新年度より価格の見直しがありそうである。値下げの話で収益に影響するので、差し引き相殺で、あまり良い傾向ではない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・受注先が名古屋で、万博関係の受注がいくらか見込めるが、大きな動きは期待できない。
		金属製品製造業（経営者）	・特に最近、経験のある技術者の雇用が非常に大変になっている。今まではパートや派遣社員で済んでいたが、正社員でないとなかなか採用しにくくなっており、業種にもよるが、先の見通しは良くなってきているとみられる。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・現在行っている利益のある仕事が、8～10月ごろまでは今のようないい状態で推移する見込みである。
		その他製造業〔看板〕（経営者）	・受注量は変わらない。資材等の値上げで売上は伸びない。

		新聞販売店 [広告] (総務担当)	・チラシの出稿量は横ばいで、良い業種、悪い業種もなく、不透明な状況である。 ・来春卒業の学生向けに開かれている企業ガイダンスでは、前年に比べて参加企業が3割程度増えている。限られた業種ではなく、全体的な増加となっている。
やや悪くなる		窯業・土石製品製造業 (経営者)	・2～3か月先の受注が動き出す時期であるが、一向にその気配を感じない。予想以上に悪い状況と受け止めている。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・ここにきて設備関連の仕事が潮が引くように激減している。本来なら年度末で作り込みをする時期だが、その気配は全くなく、生産調整ということで驚いている。前年8月と比べ、売上も半減しており、だんだん悪くなっていく。
		電気機械器具製造業 (営業担当)	・全般的に仕事量が減少し、見積も少なくなっているため、先行きに非常に危機感を感じている。
		金融業 (経営企画担当)	・東京通勤圏 (1～2時間程度) で分譲地の売行きが伸び悩んでいる。東京都内でも比較的安い物件が手に入ることから、いったん購入した人が都内に回帰する例が散見され、結果的に中古物件が残ってしまっている。
	その他サービス業 [放送] (営業担当)	・4月からの年間契約受注は、官公庁を中心に5%程度落ち込む見通しである。サービス業、不動産業、流通業のスポットコマーシャルは減少傾向にあり、イベントの受注、商業、通信業からのスポットコマーシャルは見通しが立たない状況である。	
悪くなる		輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・3か月インフォメーション上では、受注が前年比10%強落ち込む見通しである。それに伴い4月からは2年で10%強という、新たなコストダウンの要請を受けているので、収益面が相当悪化する。
		建設業 (総務担当)	・現在の受注金額と予想工事利益から一般経費を差引くと、今期も大きな欠損金が生じてしまう。経費削減も実施し、受注活動も厳しいなか努力しなければならない。
雇用 関連	良くなる	新聞社 [求人広告] (担当者)	・例年のことであるが、年度替わりは多少良くなる。新規事業のスタートなど、新しい展開が起こるので、注文を取るべく頑張っている。他社に持っていかれてしまうとうどうしようもなくなるが、注文が来れば相当増大する見込みである。
	やや良くなる	職業安定所 (職員) 学校 [短期大学] (就職担当)	・新規求職者数が一貫して、20%程度減少してきている。 ・地元新聞社等が主催する、来春大学卒業予定者対象の合同就職説明会が今月2回開催された。参加企業は延べ207社と、前年より35%も増加し、情報関連等のSE、製造業の研究開発部門など技術者を始め、介護福祉関係など、専門的技術を要する求人の増加が目立っている。金融を始め、事務職の求人は本年同様厳しい。
変わらない		人材派遣会社 (営業担当)	・スペシャルオリンピックス関連の特需が多少入っているが、短期間なので、売上全体を底上げるほどではない。携帯ショップや家電大型店でのデジタル商品の販売補助スタッフのオーダーもあるが、単発なので大きな数字にならない。トータルすると特段の好材料も見当たらず、横ばいである。
		職業安定所 (職員)	・1倍以上の有効求人倍率が19か月続いており、大型書店や都心型商業施設のオープンなど、明るい話題がある一方、競馬場の廃止、AV機器工場の大規模な人員削減などいくつかの人員整理の話があり、先行きは不透明である。
		職業安定所 (職員)	・請負や派遣などのサービス事業者が多様な産業へ進出しており、今後も全体的に非正規求人が増加すると見込まれ、安定した雇用は期待できない。
		民間職業紹介機関 (経営者)	・求人状況は乱高下するが、総体的には今まで通りの求人数を維持していく。製造業では受注、生産、出荷、在庫をコンピュータでタイムリーに管理し、それに合わせて求人の変化が激しいが、新製品、新機種の開発への求人は、常に高い数字を示している。
		学校 [大学] (総務担当)	・求人票は前年並みに出ているようであるが、大学生の就職状況は厳しさが続く。
やや悪くなる		職業安定所 (職員)	・管内主要企業等に、一部内部調整の動きが見受けられる。
		職業安定所 (職員)	・新規求職者数が増加傾向にある。
悪くなる		人材派遣会社 (社員)	・来年度、契約解除となるところが3か所くらい、仕様減で受注額が減るところが4、5か所ある。官公庁だけでなく、民間でもそのような動きが若干あるので、売上も随分下がる見通しである。